

# 第9回対話の場について



- 日時：2022年9月8日（木）18：30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員16名、ファシリテーター6名、神恵内村、経済産業省、北海道庁、NUMO

- <対話のテーマ>**
- ① 運営委員会の開催結果報告
  - ② 文献調査の進捗状況について
  - ③ 地層処分リスクと安全対策について



※当日の資料などについては、NUMOのホームページに掲載し、神恵内交流センターで配布しております。より詳しい内容にご関心のある方には、交流センター職員がご説明に伺いますので、以下の問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。(電話番号:0135-67-7711)

## ① 運営委員会の開催結果報告

- 事務局から、運営委員会で検討した次回の対話の場のテーマについて報告しました。
- 次回は、これまでの対話の場の振り返りを行う予定です。

## ② 文献調査の進捗状況について

- NUMOから、「文献調査の進捗状況について」説明しました。
- これまで、収集した文献・データの概数をお示しており、この度、その文献・データの名をリストにしました。
- 現在は「文献・データに基づく評価」を進めています。
- 今後の作業を進めていく際には、国の審議会でも議論・評価をもらうことにしています。

<文献調査の流れ>

(1) 文献調査の開始



(2) 文献・データの収集



(3) 文献・データに基づく評価



(4) 報告書の作成

実施中

## ③ 地層処分リスクと安全対策について

- NUMOから、第7回対話の場（2022年4月27日）にてご説明した内容の続きとして、「地層処分リスクと安全対策について」ご説明しました。
- 説明後、5つのテーブルに分かれて、委員のみなさまからご質問を頂き、経済産業省やNUMOから回答いたしました。



## 対話の場で紹介されたご質問と回答

### 【ご質問】 条例を理由に反対している北海道知事への対応はどのようなのですか？

(経済産業省から回答)

- 最終処分法では、概要調査を行うか判断する際、必ず都道府県知事と市町村長の意見を聞き、それを尊重することになっており、仮に知事が反対される場合は、概要調査を行うことはない。
- これまで北海道庁へは、対話の場の状況や文献調査の進捗状況等の情報提供などを行っており、今後もしっかりとコミュニケーションを取って話し合いをしていきたい。

### 【ご質問】 国の審議会とは？何をやるのですか？

(経済産業省から回答)

- 放射性廃棄物ワーキンググループという会議で、文献調査の進め方を議論している。4月には「専門家の意見を聞き丁寧に進めるべき」という意見をいただいた。それを具体化したものを9月6日に提案し、承認いただいた。
- 各学会（火山、地質ほか）から推薦いただいた専門家等により、NUMOの進める文献調査の評価の考え方を検討いただく。

### 【ご質問】 「規模の小さい活断層」とは？何をもちいて規模が小さいというのですか？

- 具体的な数字は決まっていない。目安や考え方として以下を紹介したい。
- 目安としては、長さ数キロ程度のものでも地表調査で見つける場合があるが、それよりも小さいものも、トンネルを掘る際に見つけて、避ける、廃棄物を置かないなどの対応をとる。
- どれくらいの規模であれば許容できるかについては、断層のズレの影響を緩衝材（ベントナイト）で吸収できるか、といったことで判断することが考えられている。

### 【ご質問】 地下は何メートルから何メートルまでが岩盤なのですか？

- 地表に近い未固結の柔らかい地層（78万年より新しい地層）は地層処分に向かない。
- その柔らかい地層を避けた固い部分を岩盤とみなしてよい。岩盤（地殻）は数キロ～数十キロの深さまで続いている。

### 【ご質問】 TRU廃棄物はどれくらいあるのですか？

- 19,000m<sup>3</sup>（立米、立方メートル）。
  - イメージの例として、25mプールで、深さが1m、幅が10mだと250m<sup>3</sup>であり、これが80個で20,000m<sup>3</sup>となる。つまり、小学校のプール80個分くらい。
- ※当日は40個と説明しましたが、正しくは80個でした。お詫びして訂正させていただきます。

対話の場における配付資料や映像は、NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO  <https://www.numo.or.jp/>

